

1 題材名 比べて見える？作品の魅力

2 題材の目標

作品から受ける印象や表された表現の工夫などに関心を持ち、感じたことや作品に表れている表現の工夫について、よさや美しさを味わう。

3 題材について

(1) 題材観

本題材では、作品から受ける印象やそこに表される表現の工夫などを鑑賞し、よさや美しさを味わう活動を行う。高等学校学習指導要領解説芸術編(平成21年12月)では、「鑑賞において造形的な視点を豊かにもって対象を捉えるためには、言葉で考えさせ整理することも重要である。言葉にすることにより、美しさの要素が明確になったり、言葉を使って他者と意見を交流することにより、新しい価値などに気付いたりすることが出来るようになるからである。」と示されている。そこで、作品から受ける印象は作品に描かれている何が根拠となっているのか、作品に表された表現の工夫によって作品にどのような効果が出ているのかを探り、生徒同士が自分の言葉で説明し合うことで、鑑賞する楽しさや喜びを味わわせたいと考える。また、作者の表現意図や工夫にまで迫ることで、よさや美しさを味わい、作品に対する見方や感じ方を深めることができると考える。

(2) 生徒の実態

本校では、全生徒が第1学年で美術Iを履修することになっている。その中でも本学級の生徒は、表現及び鑑賞活動に積極的に取り組む様子が見られる。意識調査からも、鑑賞活動が楽しいと感じている生徒が多いことが分かる。一方、鑑賞時に、作品から受ける印象や表現の工夫などの気付きについて、なかなか思い付かない生徒がいることが分かった。また、過去に行った鑑賞活動においても、作品から受ける印象や表現などの気付きについて、なかなか思い付かない生徒や、簡単な表現で済ませてしまいがちな生徒が見られた。

(3) 指導観

本題材では、生徒の実態を踏まえ、以下に示す三つの手立てを行う。

まず、作品から受ける印象や表現の工夫などについて気付きを促すために、二つの作品を見比べる比較鑑賞を行う。作品を1点のみで鑑賞するより、他の作品と比較した方が、共通点や相違点を見付けやすいために作品をより細かく見ることができ、作品から受ける印象がどう違うかなどをより深く考えることができると考える。

次に、生徒が、感性や想像力を働かせながら、気付いたり考えたりすることができるように、鑑賞活動時に活用するワークシートを工夫する。形や色彩などの〔共通事項〕の視点を示し、鑑賞することにより、自分が感じていることの根拠を明らかにしながら言葉にすることができると思う。

さらに、学習過程の工夫として、生徒がこれらの活動を通して鑑賞の深まりを実感できるように、同様の形式で3回の鑑賞活動を行う。特に2回目では、発表や話合いの時間を

十分に確保する。それにより、作品から何が読み取れるか、なぜそう感じるのかなどについて、話し合いの中で考えを深めたり、新たな視点に気付いたりすることができると思う。

4 題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
作品から受ける印象や表された表現の工夫などに関心を持ち、感じたことや作品に表れている表現の工夫について、よさや美しさを味わおうとしている。	作品から感じたことや、作品に表れている表現の工夫などについて、よさや美しさを味わっている。

5 指導と評価の計画（4時間扱い）

時	●学習のねらい・学習活動	評価の観点		学習活動に即した評価規準 ()は評価方法
		関	鑑	
1	<ul style="list-style-type: none"> ●二つの作品から感じたことや表現の工夫などについて、よさや美しさを味わう。 ・本題材の学習をつかむ。 ・作品から受ける印象や共通点、相違点をワークシートに記入し、発表する。 ・二つの作品の違いや特徴、魅力等について、根拠を明らかにしてまとめる。 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・作品から受ける印象や表された表現の工夫などに関心を持ち、よさや美しさを味わおうとしている。 (観察) ・作品から感じたことや作品に表れている表現の工夫などについて、根拠を明らかにして味わっている。 (観察, ワークシート)
2	<ul style="list-style-type: none"> ●二つの作品から感じたことや表現の工夫などについて、よさや美しさを味わう。 ・作品から受ける印象や共通点、相違点をワークシートに記入しながら、項目ごとに発表・話し合いをする。話し合いながら、なぜそう感じるのか、どこを見てそう判断したのかを考える。 ・作品について根拠を明らかにしてまとめる。 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・作品から受ける印象や表された表現の工夫などに関心を持ち、よさや美しさを味わおうとしている。(観察) ・作品から感じたことや作品に表れている表現の工夫などについて、話し合いを通して味わっている。 (観察, ワークシート)
3	<ul style="list-style-type: none"> ●アートカードを使って作品の共通点を探すゲームを行い、作品のよさや美しさを味わう。 ・4人一組のグループを作り、カードの中から好きな作品や今の気分合う作品を1枚選んで紹介し合う。 ・「ババ抜き」の要領で、引いたカードと手持ちのカードとの共通点を探し、グループの仲間に説明して手持ちのカードを減らしていくゲームを行う。 	○		<ul style="list-style-type: none"> ・作品に描かれたものや形、色彩、表現方法などに関心を持ち、よさや美しさを味わおうとしている。(観察)
4 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ●二つの作品から感じたことや表現の工夫などについて、よさや美しさを味わう。 ・作品について、感じたことをワークシートにまとめる。 ・鑑賞したことをグループや全体で話し合い、作者の表現意図、よさや美しさに迫る。 ・話し合いを通して気付いたことや考えたこと、今後制作する上で参考になったことをまとめる。 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・作品から受ける印象や表された表現の工夫に関心をもつとともに、作品の主題や作者の表現意図に迫ろうとしている。 (観察) ・作品から感じたことや、作者の意図と表現の工夫などについて、よさや美しさを味わっている。 (観察, ワークシート)

6 本時の指導

(1) 目標

二つの作品を鑑賞することに関心をもち、作品から受ける印象や作者の意図と表現の工夫などを考え、よさや美しさを味わう。

(2) 準備・資料

教師：鑑賞教材（モネ「エプト川のポプラ並木－白と黄色の効果」、ホッペマ「ミッデルハルニススの並木道」），ワークシート

生徒：筆記用具

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点，◎評価（評価方法）
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>二つの作品を鑑賞して，作品の主題や表現の工夫を感じ取ろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時は，これまでの鑑賞活動で学んできたことを生かして鑑賞する時間であることを伝え，学習への意欲を引き出すようにする。
<p>2 個人で二つの作品を鑑賞する。</p> <p>(1) 鑑賞の方法を確認する。</p> <p>ア 描かれている事実を，形や色彩などの造形的な視点で探す。</p> <p>イ 形や色彩などの組合せ，構図などから受ける印象について考える。</p> <p>(2) ワークシートに自分の考えを記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 作品と作者，鑑賞者の関係図を板書し確認することで，作品を鑑賞者側からだけでなく作者側からも考えられるようにする。 鑑賞する際に，描かれている事実と受ける印象の順番は逆になってもよいことを伝える。 ワークシートへの記述は，描かれている事実と受ける印象をつなげて，考えたことの根拠を明確にするように指示する。 <p>◎作品から受ける印象や表された表現の工夫に関心をもつとともに，作品の主題や作者の表現意図に迫ろうとしている。（観察）</p>
<p>3 鑑賞したことをグループや全体で話し合い，作者の表現意図，よさや美しさに迫る。</p> <p>(1) グループになり，一人ずつ鑑賞したことを発表する。</p> <p>(2) それぞれの鑑賞を基に，作者が表現したかったことについて考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 机間指導を行い，活動できていない生徒や記述が不十分である生徒について個別に支援する。 自分の考えと友人の考えの共通点，相違点について意識しながら発表を聞くように促す。 絵画から受けた印象を伝え合うだけでなく，その印象が，作者の思い（主題）と同じものであるかどうかを話し合うことで，鑑賞を深めたい。 机間指導を行い，話し合いがうまくいっていないグループや，見る視点が固定されているグループには，ヒントを与えたり，別の視点を示したりする。 形や色彩だけでなく，構図等にも注目させたい。 <p>◎作品から感じたことや，作者の意図と表現の工夫などについて，よさや美しさを味わっている。（観察，ワークシート）</p>
<p>4 グループで鑑賞したことを全体に発表する。</p> <p>5 本時の学習のまとめをする。</p> <p>友人との話し合いや発表で新たに気付いたこと，よさや美しさ，自分が今後作品制作をする上で参考になったことについて考え，ワークシートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 同じ作品でも様々な捉え方があり，友人との鑑賞を通して気付く新たな視点や考え方が，自分の鑑賞を豊かにすることについて説明する。 鑑賞活動で学んだことを，今後の表現活動に生かせるように意欲付けをする。